

博士論文を探す

リサーチ NAVI 早稲田

検索

<http://www.wul.waseda.ac.jp/research-navi/>

リサーチ NAVI
No.4
早稲田大学図書館
2017.11.16

早稲田大学を含む国内・海外の博士論文を探す方法を紹介します。

博士論文とは

博士論文(はくしろんぶん、はかせろんぶん)とは、博士学位を取得するために提出され受理された学位論文です。博士論文は、以下のように所蔵・提供されています。

- A. 論文が提出された大学の図書館等で所蔵
- B. 各国の国立図書館等で所蔵(日本の場合は国立国会図書館)
- C. 論文が提出された大学の WEB サイト(機関リポジトリ)などで無料公開
- D. 一般の書籍として販売
- E. 専門の業者による販売(主に北米の博士論文)

早稲田大学の博士論文

早稲田大学の博士論文は図書館(本庄保存書庫)で所蔵しており、ほぼすべて WINE で検索が可能です。2002 年度以降の著者の許諾を得た論文、および 2013 年度以降のほぼ全ての論文は、[早稲田大学リポジトリ](#)にて、Web 上で公開されています。冊子体を利用する際は、本庄保存書庫から中央図書館やキャンパス図書館へ取寄せる必要があります。詳しくは、[早稲田大学学位論文の検索と利用方法](#)をご覧ください。

また、研究科別に論文の概要(タイトル等)を一覧したい場合は、各研究科事務所等でご相談ください。ネット上での本文公開許諾が得られているものについては、[早稲田大学リポジトリの Index List](#)にて研究科別に一覧することができます。

国内他大学の博士論文

○ 各大学の図書館を利用する

各大学の博士論文は、それぞれの大学の所蔵目録や博士論文の検索システムなどで調べることができます。2013 年 3 月の学位規則改正により、2013 年 4 月 1 日以降に学位授与された博士論文は、原則としてインターネットで公表されることになりました(2013 年 3 月以前に提出された博士論文は、著作権者の許諾を得たもののみ)。

ネット上で本文が読めない場合は「訪問利用」か「複写依頼」を検討してください。訪問利用を希望する場合は、各大学(図書館)のホームページなどで利用方法を確認しましょう。紹介状や事前の問い合わせが必要となる場合があります。複写依頼の場合、全体の半分以下(著作権法による)となります。半分以上を超える複写を希望される場合、著作権者の許諾が必要となる場合があります。

■ [学外図書館の利用](#) (図書館 Web サイト)

他大学図書館への訪問利用や、資料の取寄せ方法、図書館協定校の利用に関する案内など。

○ 国立国会図書館を利用する

1923 年 9 月以降の博士論文を所蔵しています。印刷物は国立国会図書館の蔵書検索 [NDL-OPAC](#) (詳細検索の資料種別で“博士論文”を選択)で、電子形態は [国立国会図書館デジタルコレクション](#) で検索可能です。印刷物・電子形態を両方まとめて検索する場合は、[国立国会図書館サーチ](#) をご利用ください。

詳しくは、以下のサイトをご参照ください。

■ [国内博士論文 | 調べ方案内](#) [国立国会図書館] (一般 Web サイト)

国立国会図書館作成の国内博士論文利用についてのガイド

○ ネット上で公開されているものを利用する

- [JAIRO \(Japanese Institutional Repositories Online\)](#) [国立情報学研究所] (一般 Web サイト)
国内の学術機関リポジトリに公開された学術情報(学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等)を検索できる。学位論文のみに絞って検索が可能。全文が読める論文が多い。
- [CiNii Dissertations](#) [国立情報学研究所] (一般 Web サイト)
国内の学術機関リポジトリに公開された博士論文を検索できる。全文が読める論文が多い。

海外の博士論文

海外の博士論文を探す場合、学位が授与された大学やその国の国立図書館などに当たる方法がまず考えられます。近年はインターネットで全文が公開されていることも増えていますが、全文が閲覧できない場合は、データベースや販売店を利用/経由し、購入する方法があります。購入できない場合には以下もご検討ください。

- A. 現物(冊子版、マイクロフィルム版)の借用依頼
- B. 複写依頼(著作権の範囲内)
- C. 訪問利用

○ ネット上で公開されているか調べる

- [ProQuest Dissertations & Theses Global \(PQDT Global\)](#) (大学契約データベース)
世界の大学の学位論文(博士論文と修士論文)のデータベース。主に北米を中心に1743年以降の学位論文を検索できる。1997年以降の論文と、1997年以前で著者の許諾が得られている論文については本文全文が収録されている。
- [Networked Digital Library of Theses and Dissertations \(NDLTD\)](#) (一般 Web サイト)
北米を中心に世界で80機関以上が参加する、電子学位論文(ETD)の検索・閲覧サイト。[\[Global ETD Search\]](#)から検索でき、[\[List of members\]](#)から参加機関を確認できる。全文が読める論文が多い。
- [WorldCat.org](#) [OCLC] (一般 Web サイト)
世界最大の書誌データベース。Advanced SearchにてThesis/Dissertationに限定した検索が可能。書誌情報だけでなく、所蔵先を調べることも可能。

○ 購入する

- [Dissertation Express](#) [ProQuest] (一般 Web サイト)
ProQuest 提供の学位論文の検索販売サービス。国内正規代理店であるサンメディア社のサイトから利用できる。メール・Faxにてサンメディア社に論文の入手を依頼することが可能(個人による申し込み)。
- [丸善雄松堂 学位論文センター\(YDSC\)](#) (一般 Web サイト)
米・仏などの学位論文の検索・購入を依頼できる。

○ その他

- [NDL-OPAC](#) [国立国会図書館] (一般 Web サイト)
国立国会図書館では海外の博士論文も所蔵。関西館では、主に科学技術分野の欧米博士論文、東京本館では、人文・社会科学分野で日本関係の主題を扱った博士論文・学位論文を所蔵。
- [海外博士論文\(総論\) | 調べ方案内](#) [国立国会図書館] (一般 Web サイト)
総論だけでなく、世界各地域別のガイドへのリンクが充実。
- [学外図書館の利用](#) (図書館 Web サイト)
他大学図書館への訪問利用や、資料の取寄せ方法、海外ILL(海外図書館からの資料の取り寄せ)に関する案内など。